

定期予防接種の対象年齢と接種間隔

◎定期予防接種名と望ましい接種年齢などを一覧にしました。
医療機関に相談しながら計画的に接種をすすめていきましょう。

◎対象年齢内は無料 <<未満とは、誕生日前日までです>>

予防接種の種類 Vaccine		接種回数	標準的な接種年齢	対象年齢	間隔・その他	通知時期
インフルエンザ菌b型 (Hib) Haemophilus type b	不活化	初回	3回	生後2か月から 生後7か月未満の間	生後2か月から 5歳未満	27日から56日の間隔で接種
		追加	1回	3回目終了後、 7か月から13か月の間		3回目終了後、7か月から13か月の間に接種しましょう。
小児肺炎球菌 Streptococcus pneumoniae	不活化	初回	3回	生後2か月から 生後7か月未満	生後2か月から 5歳未満	27日以上の間隔を置いて接種しましょう。
		追加	1回	3回目終了後、 60日以上		3回目終了後、60日以上で1歳以上の時に接種しましょう。
B型肝炎 Viral Hepatitis typeB	不活化		3回	生後2か月から 生後9か月未満	1歳未満	27日以上の間隔で2回接種。 1回目から139日以上の間隔で3回目接種
ロタウイルス Rotavirus ※5価経口弱毒生ロタウイルスワクチンのみ3回目接種 経口(飲む)	生	1価ワクチン	2回	生後2か月から27日以上の間隔をあけて	出生6週0日後から24週0日後までの間	生後2か月になったら受けましょう
		5価ワクチン	3回	生後2か月から27日以上の間隔をあけて	出生6週0日後から32週0日後までの間	生後2か月になったら受けましょう
ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ(四種混合) Diphtheria・Pertussis・Tetanus・Polio	不活化	1期初回	3回	生後3か月から1歳	生後3か月から 7歳6か月未満	20日から56日までの間隔を置いて3回接種しましょう。
		1期追加	1回	3回目終了から概ね1年		1期3回目終了後、12か月から18か月の間に接種しましょう。
BCG(結核)	生		1回	生後5か月に達した時から生後8か月未満	1歳未満	接種時期が短いため早めに接種しましょう。
麻疹(はしか)・風疹 Measles・Rubella	生	1期	1回	1歳	1歳から2歳未満	1歳の誕生日がきたらなるべく早めに接種しましょう。
麻疹(はしか)・風疹 Measles・Rubella	生	2期	1回	小学校入学前年度(4月2日から4月1日生の児)	5歳から7歳未満	小学校入学前の「就学児の健康診断」までに2回目を忘れずに接種しましょう。 4月1日から3月31日までの1年間
水痘(水ぼうそう) Varicella	生		2回	1歳	1歳から3歳未満	1歳の誕生日がきたらなるべく早めに接種しましょう。
日本脳炎 Japanese Encephalitis	不活化	1期初回	2回	3歳から4歳	生後6か月から 7歳6か月未満	6日から28日までの間隔を置いて接種しましょう。
		1期追加	1回	4歳から5歳 ※1期2回目後、概ね1年後		2回目終了後、12か月から18か月の間に接種しましょう。
日本脳炎 Japanese Encephalitis	不活化	2期	1回	9歳から10歳	9歳から13歳未満	9歳の誕生日がきたらなるべく早めに接種しましょう。
ジフテリア・破傷風(二種混合) Diphtheria・Tetanus	不活化	2期	1回	11歳から12歳	11歳から13歳未満	11歳の誕生日がきたらなるべく早めに接種しましょう。
ヒトパピローマウイルス(HPV)(子宮けいがん) Human Papilloma	不活化		3回	中学1年生	小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子	決められた接種間隔を守りましょう。

生後1か月頃